

令和4年度 泰明小学校 自己評価報告書

学校名：中央区立泰明小学校

所在地：中央区銀座5-1-13

校長名：浮津 健史

児童（生徒）数 313

学級数 12

教員数 19名

職員数 7名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標1 思いやりの心の育成

評価項目：言語活動の整備（学校生活における児童の言葉遣い）

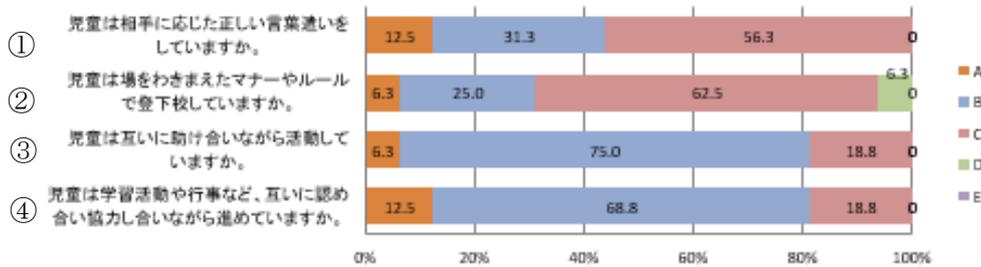
規範意識の向上（挨拶の励行、登下校の安全、公共マナー）

豊かな人間関係と社会性

（様々な活動を通して、社会の一員としての意識を高める）

【教員】

重点目標 1



保護者のアンケート結果（十分達成している・達成している）

- ① 74.6%（17.2%・57.4%）
- ② 78.9%（15.2%・63.7%）
- ③ 90.2%（20.7%・69.5%）
- ④ 90.6%（25.4%・65.2%）

①の児童の正しい言葉遣いについては、教員の肯定的評価は約4割、保護者の肯定的評価が約8割と評価にズレが生じている。また、②の登下校のマナーやルールのについても、教員の肯定的評価が約3割、保護者の肯定的評価が約8割と評価にズレが見られる。児童の言葉遣いや規範意識については、情報を共有し、全教員で繰り返し指導を行っている現状がある。登下校で利用するバスや電車のマナーやルールについては、PTAの安全対策部との連携を強化する。教員の乗車指導やPTAの安全対策部が中心に行う安全パトロールの情報共有や打合せを定期的に行っていく。

③の児童同士の助け合いや④の認め合いや協力しながらの活動については、教員の肯定的評価が約8割、保護者の肯定的評価が約9割となっている。今年度は、ほとんどの行事を工夫しながら行うことができた。学習活動や行事での児童同士の関わりを通して、友達を思いやる心や社会性を育成することができた。

重点目標 2 確かな学力の保障と学習意欲の喚起

評価項目：基礎・基本の定着（教材・教具の整備、教育環境の充実）

学習意欲の向上（学習満足度の高い授業づくり）

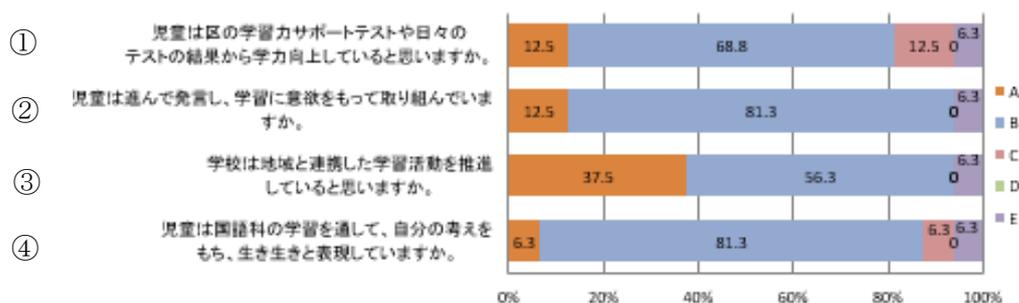
地域との連携による学習活動の推進

国語科（校内研）

「一人一人が自分の考えをもち、生き生きと表現する児童の育成」

【教員】

重点目標 2



保護者のアンケート結果（十分達成している・達成している）

① 80.9%（22.7%・58.2%）

② 77.0%（25.0%・52.0%）

③ 91.4%（37.1%・54.3%）

④ 78.5%（21.5%・57.0%）

保護者アンケートでは、②と④の肯定的評価が8割に達していないが、教員のアンケートは、全ての項目で肯定的評価が8割を超えている。

②や④から分かるように、本校の児童の特徴として、自分の考えを表現することに課題がみられることから、今年度は校内研究を国語科で行い、自分の考えを相手意識をもって表現する授業づくりに取り組んできた。

③の地域と連携した学習活動の推進については、保護者、教員共に肯定的評価が9割を超えている。今年度も地域の方々に協力していただいて生活科や社会科、図工科、総合的な学習の時間などで、地域の教育力を生かした教育活動を行うことができた。本校の児童を「銀座の子」として、支援・交流していきたいという保護者や学校評議員の声もあり、地域を生かした学習活動を通して、本校独自の地域理解教育を推進していく。

重点目標 3 児童の健康づくりの推進

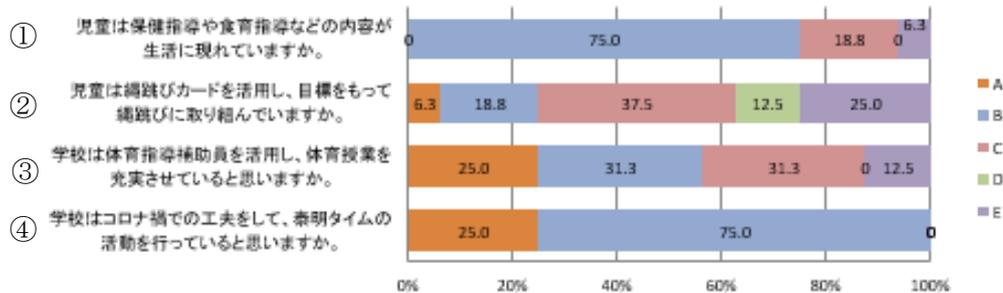
評価項目：健康教育の推進（保健講話、保健指導、食育指導）

運動環境の整備（体育的活動、マيسポーツスポーツの推進）

体育指導の充実（体育指導補助員の活用）

【教員】

重点目標 3



保護者のアンケート結果（十分達成している・達成している）

① 83.6%（26.6%・57.0%）

② 30.0%（7.0%・23.0%）

③ 体育指導補助員が病気休暇を取得したため、聞き取り実施せず

④ 75.8%（24.6%・51.2%）

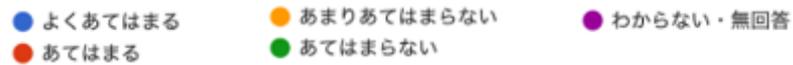
肯定的評価が8割以上になったのが、保護者は①のみ、教員は④のみとなった。

①の保健指導や食育指導については、校医による保健講話や講師を招いての食育の授業を今後も継続的に行っていく。

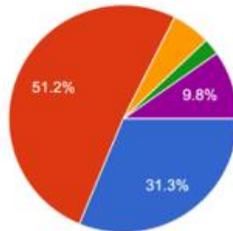
②の縄跳びの取り組みについての肯定的評価は、保護者・教員ともに低い結果となった。縄跳びは、コロナ禍での練習場所の確保が難しかったことや中心になっていた指導者の異動等で、継続的な取り組みが困難な状況となった。そこで、3学期に行う「泰明マラソン」に向けてめあてをもって取り組める持久走をマイスクールスポーツとして位置付けることとし、体育朝会で、継続して走る場を設定していく。

④の泰明タイムについては、昨年度までコロナ禍で実施を見合わせていたが、今年度は、年間通して実施することができた。「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」で課題であったソフトボール投げにつながる運動を継続して行うことで、投力の向上につながる運動量を確保することができた。保護者の肯定的評価が8割に満たないことから、実施している様子を学校便りや Classroom 等で発信していく。

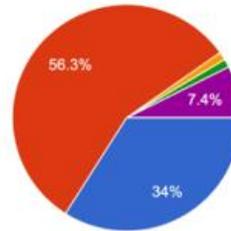
2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況



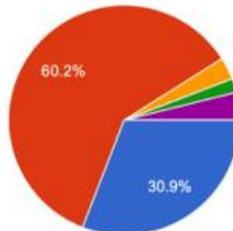
4-1) 学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている。
256 件の回答



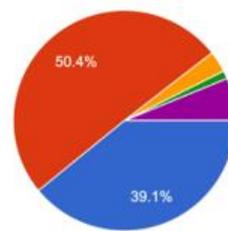
4-2) 学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。
256 件の回答



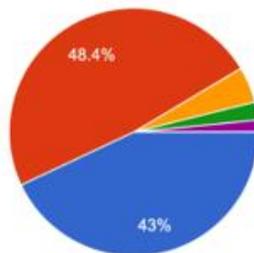
4-3) 学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している。
256 件の回答



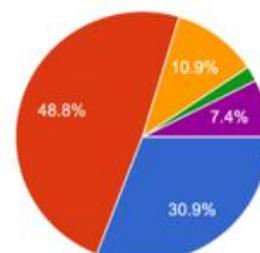
4-4) 学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。
256 件の回答



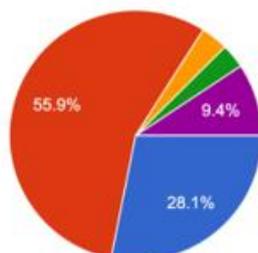
4-5) 児童は明るく生き生きと学校生活を送っている。
256 件の回答



4-6) 学校は児童の健康・体力の増進に努めている。
256 件の回答

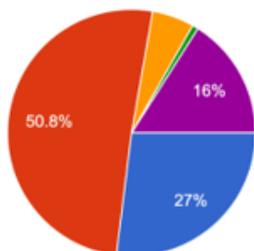


4-7) 学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。
256 件の回答



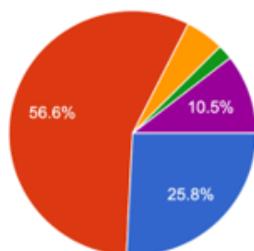
4-8) 学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。

256 件の回答



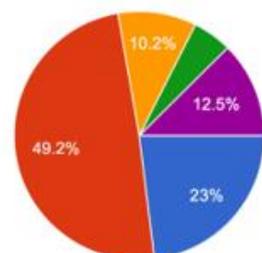
4-9) 学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で児童の指導にあたっている。

256 件の回答



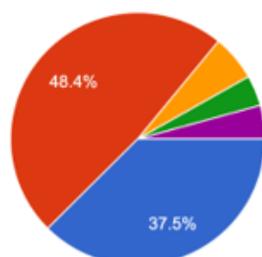
4-10) 学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。

256 件の回答



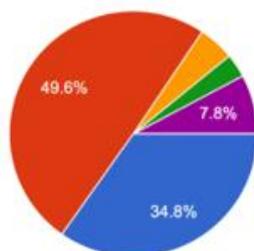
4-11) 学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。

256 件の回答



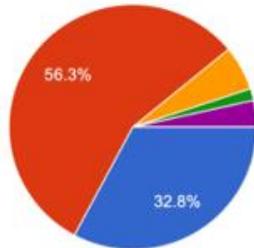
4-12) 学校は保護者や地域の人々が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。

256 件の回答



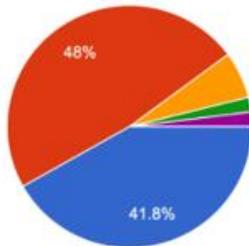
4-13) 学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。

256 件の回答



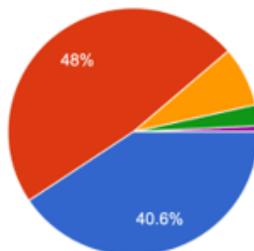
4-14) 学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。

256 件の回答



4-15) 学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすくても内容も適切である。

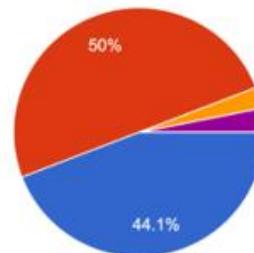
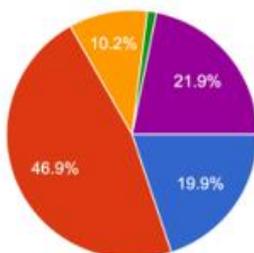
256 件の回答



4-16) 学校はコンピュータや図書室を十分活用している。 4-17) 学校は地域を生かした教育活動や行事を行っている。

256 件の回答

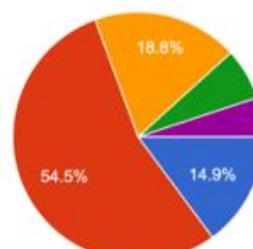
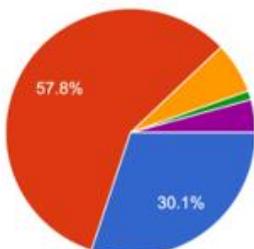
256 件の回答



4-18) 保護者は学校の教育活動に積極的にかかわっている。 4-19) 児童はマナーを守り、安全な通学を心掛けていると思う。

256 件の回答

255 件の回答



ほとんどの項目で肯定的評価が8割以上である。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策をしながら、ほとんどの行事を行うことができた。また、学校公開も同様に実施することができた。4-6「児童の健康・体力の増進」、4-8「ボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動」、4-16「コンピュータや図書室の十分な活用」については、日常的な教育活動として行っていることである。今後 Classroom などを活用して発信していくことで、肯定的評価と「わからない・無回答」の数値の変化につながるよう改善を図る。

○4-10 学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。【肯定的評価 72.2%】

児童の問題や悩み、トラブル等については、日々情報共有し、学級担任だけではなく、状況に応じて全教員で対応していく。聞き取りを丁寧に行い、児童の問題や悩みの解消に努めていく。児童の問題や悩みによっては、スクールカウンセラーと連携し、話をする時間を確保する。児童の気持ちに寄り添いながら解決に向けての方法を一緒に考える時間を大切にしていく。

また、4-11「学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している」の肯定的評価は、85.9%である。今後も保護者への連絡を必要に応じて行い、状況や指導内容について情報を共有していく。

3 今後の改善方策

○マナーやルールについて

- ・挨拶や言葉遣い、公共の乗り物の利用の仕方等、講話や「特別の教科 道徳」の時間等を活用して1年を通して取り上げる内容とし、児童が自分の行動を振り返る機会を設定する。
- ・公共の乗り物の利用の仕方については、学校と PTA 安全対策部が連携し、駅やバス停での乗車指導を計画的に行う。乗車前や乗車中の様子については、情報を共有し、指導が必要な場合は、早急に行う。
- ・ルールの徹底については、4月に各学級で本校の学校生活のルールについて確認する時間を設定する。そのために、4月初めに教員で本校のルールについて確認する時間を設け、児童への指導に相違がないようにしていく。

○体力向上について

- ・コロナ禍で実施を見合わせていた「泰明タイム」を今年度は計画的に実施することができた。「鬼遊び」「8の字つなひき」「ターゲットスナイパー」「リバーシ」等、様々な運動を行うことで、今後も体力向上を図る。
- ・マイスクールスポーツを持走にして取り組む。体育朝会を定期的に行い、3学期の「泰明マラソン」に向けてめあてをもって取り組めるようにする。

○異学年交流

- ・今年度は、たてわり班集会を定期的に行い、6年生の班長・副班長を中心に一緒に遊びを通して交流することができた。来年度は、たてわり班で清掃活動を行うことから、異学年の交流が日常的になり、相手を思いやる心の育成を図れると考える。

○タブレットの活用

- ・タブレットの正しい利用の仕方について、本校の SNS ルールを基に指導を継続して行う。
- ・AI ドリル教材「Qubena キュビナ」を授業や家庭学習で活用することにより、一人一人の学びの定着を図る。